

世界恐慌下の世界

NHKスペシャル「映像の世紀4 ヒトラーの野望」をもとに

[1] 年11月アメリカ、ウォール街で起こった株価大暴落は直ちに [2] を除く全世界に波及し [3] と呼ばれた。敗戦とそれにつづく [4] によって経済混乱に陥っていた [5] は、その後大量の [6] からの資金をかりて戦後の復興を進めていたが、資金の引き上げを受けて一挙に経済混乱に陥り、人々は不安と不満を高めるようになった。こうしたなか、各国は [7] の導入など自国の経済保護のみに力をいれ、他国を排除する方向に進んだため、日本・ドイツなど [8] などをもたない国々は苦境に陥った。他方、1917年 [9] で成立した [10] 国ソビエト連邦(ソ連)は [11] の指導のもと [12] 経済をすすめ恐慌に苦しむ他の国々と大きな対比を見せた。

【映像の世紀4 ヒトラーの野望】1

1. 大恐慌下の世界とソ連

①1929年発生した [13] は世界を直撃、アメリカでは退役軍人のデモが発生し、軍隊が出動した。

②他方、大恐慌の影響を受けなかった [14] は繁栄を続けていた。

のちのソ連の指導者 [15] は、地下鉄工事で早期に任務を達成し、ソ連の指導者 [16] から高く評価された。

当時、ソ連はプロパガンダ(*「宣伝」という意味)で大恐慌時のアメリカの暗い側面を描きだし、ソ連の優位性をアピールしようとした。

イギリスの劇作家バーナード・ショーはソ連を訪問し、ソ連を [17] と紹介し、資本主義国も [18] システムを採用すべきだと主張した。しかし、ソ連では反体制派の人々を [19] におくり労働力として用いたり、処刑したりしていた。

2. ヒトラーの台頭

①大恐慌の影響がもっとも大きかったのは [20] であった。

銀行では [21] 騒ぎが発生し [22] があいつぎ、 [23] が住む場所もないという状態になっていった。

②こうしたなか、ドイツ民族を救うと主張し、台頭してきたのが [24] ひきいる [25] 党であった。

ヒトラーは [26] のブラウナウの税関の役人の子どもとして生まれた。 [27] の敗戦で [28] 帝国が崩壊するのを目の当たりにして、 [29] と政治家を志すようになった。

1923年、ヒトラーは [30] の町でドイツ人暴動(※ミュンヘン暴動)を起こしたが失敗に終わり、その後、彼は [31] で政権の座を奪おうと考えるようになった。

③彼の選挙戦は他の者とは大きく変わっていた。 [32] をあげるナチス風の敬礼は [33] のファシスト党のものを受け入れ、 [34] を示すマークである [35] を用いた。そのほか、大量の [36] や [37]]、 [38] を駆使した遊説、あらたに広まってきた [39]]などを用いた。

こうして、人々は [40] にナチス党の演説会に集まってきた。そしてその中で日常生活を支えてきたものは崩れた。ヒトラーの描くドイツは人々には [41] と思えた。

また彼が組織した私設の軍隊である [42] の一糸乱れぬ規律ある行動は若者にとって、 [43] に感じさせた。

ヒトラーの演説は [44] 。

3. 当時の世界(1)

[45] 中、好景気にわいた日本は各国の経済回復と共に不況に襲われ、そのはけ口を [46] とくに東北部(いわゆる [47])地域におけた。新聞は [48] というキャンペーンをはり、軍部や右翼は大陸進出や [49]]に消極的な政治家を攻撃していた。

①日本は1931年 [50] をおこし、翌32年には [51]]を建国させた。

しかし、 [52]]はこの行為を [53]]と否定したため、日本はこれを脱退、世界からの [54]]がすすんだ。

②アメリカでは新大統領に民主党の [] が就任した。彼は [55]]の計画経済をまねた [56]]政策を進め、 [57]]による失業者救済を進めた。

ニューディール政策… [58]]にくるしむアメリカがとった政策。政府が [59]]などによって供給を減らす一方、テネシー川総合開発にみられる [60]]によって [61]]をすすめた。

しかし、うまくいかず [62]]が頻発し、会社は軍隊を要請することが相次いだ

農村でも不況が相次ぎ、 [63]]への移住を求める人々があらわれたが、彼らの運命も過酷であった。スタインベックの [64]]はこの状況を描いている。

こうした状況を背景にアメリカでは [65]]組織が台頭し始めていた